

世界史

〔注 意 事 項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は16ページ、解答用紙はマーク・シート 1 枚です。監督者の指示に従って確認してください。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

世界史

(60分 100点)

I 民族移動と中世ヨーロッパの形成について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(40点)

アルプス以北のヨーロッパやイベリア半島などでは、古くからケルト人が活動していた。バルト海沿岸やユトランド半島を居住地としていたゲルマン人は、しだいに南下してケルト人を駆逐し、紀元前後にはローマ帝国と接するようになっていた。

一方、内陸アジアの草原地帯では4世紀に遊牧民の活動が活発化し、鮮卑などの華北侵入とフン人の西進がはじまった。フン人は黒海の北方からドン川をこえて西に進出し、ゲルマン人の一派である東ゴート人を服属させ、西ゴート人を圧迫した。375年、西ゴート人は南下を開始し、翌年には 1 を渡ってローマ帝国内に移動した。それをきっかけとして、約2世紀におよぶゲルマン人の大移動がはじまった。

ゲルマン諸部族は、西ヨーロッパ各地に移動し、それぞれ建国した。そのなかでも、 2 は大ブリテン島に渡り、9世紀までにヘプターキーと呼ばれる七王国を建てた。一方、西進してきたフン人は、5世紀前半に 3 のもとでパannonia（現在のハンガリー）を中心に大帝国を建てたが、451年に西ローマ帝国とゲルマンの連合軍に敗れ、急速に衰えていった。この混乱のさなか、476年にゲルマン人傭兵隊長 4 は西ローマ帝国を滅ぼして王国を建てた。東ゴート人は、フン人の大帝国の崩壊によりその支配から脱し、 4 の王国を倒してイタリア半島に東ゴート王国を建てた。そして、568年には、ランゴバルド人がイタリア北部に⁽⁴⁾王国を建てた。

ゲルマン諸国家の多くが短命で終わったなかで、フランク王国は着実に勢力を伸ばし、西ヨーロッパ世界の形成に大きな役割を果たした。メロヴィング家の 5 は全フランク人をまとめ⁽⁵⁾ガリア（現在のフランス）中部を支配下におき、

キリスト教の正統派である [6] に改宗した。権力闘争のなかでメロヴィング朝の権力は衰え、8世紀には王家の宮宰が実権をにぎるようになっていた。このころ、ウマイヤ朝イスラーム勢力は、イベリア半島を北上し、ピレネー山脈をこえガリアに侵攻してきた。⁽⁶⁾メロヴィング朝の宮宰カール＝マルテルは、732年のトゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍を撃退した。その子ピピンは、ローマ教皇の支持を受け、751年にメロヴィング朝を廃して王位につき [7] を創始した。ピピンはランゴバルド王国を攻め、ローマ教皇にラヴェンナ地方を寄進した。これが教皇領の起源となった。ピピンの子カール大帝は、ランゴバルド王国を滅ぼし、北方のザクセン人を服従させ、大多数のゲルマン諸部族を統合した。また、東ではモンゴル系の [8] を、南ではイスラーム勢力を破り、西ヨーロッパの統一を実現した。ローマ教皇 [9] はカールに⁽⁷⁾ローマ皇帝の帝冠を与え、西ローマ帝国の復活が宣言された。

カールの死後内紛がおこり、⁽⁸⁾843年と870年に締結された二つの条約により、帝国は東・西フランクとイタリアに分裂した。この三つがドイツ・フランス・イタリアのもととなった。東フランク（ドイツ）では、10世紀初めに王統が断絶すると、各地に割拠する諸侯の選挙で国王が選ばれるようになった。ザクセン家の王 [10] は、スラヴ人や⁽⁹⁾マジャール人の侵入を阻止し、またイタリアに遠征してローマ教皇を援助し、962年に教皇からローマ皇帝の帝冠を授けられた。これが⁽¹⁰⁾神聖ローマ帝国の起源となった。

問1 文中の空欄 [1] ～ [10] に入る語句として適当なものを、次の①

～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 [1] ～ [10]

- | | | |
|-------|--------|---------|
| [1] | ① エルベ川 | ② オーデル川 |
| | ③ ドナウ川 | ④ ライン川 |

- | | | |
|-------|--------------|----------|
| [2] | ① アングロ＝サクソン人 | ② ヴァンダル人 |
| | ③ デーン人 | ④ ブルグンド人 |

3

① アッティラ

② スキピオ

③ ネルヴァ

④ ハンニバル

4

① アラリック

② エグバート

③ オドアケル

④ テオドリック

5

① エウセビオス

② クローヴィス

③ クラッス

④ ユリアヌス

6

① アタナシウス派

② アリウス派

③ ネストリウス派

④ パリサイ派

7

① カペー朝

② カロリング朝

③ ノルマン朝

④ シュタウフェン朝

8

① アヴァール人

② チェック人

③ セルビア人

④ ブルガール人

9

① インノケンティウス 3 世

② ウルバヌス 2 世

③ ヨハネス 12 世

④ レオ 3 世

10

① オットー 1 世

② ハインリヒ 1 世

③ フリードリヒ 1 世

④ グレゴリウス 1 世

問2 文中の下線部(1)に関連して、現在ケルト系の人々が人口の大部分を占める国を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

11

① アイルランド

② デンマーク

③ ノルウェー

④ ポルトガル

問3 文中の下線部(2)に関連して、4世紀後半に鮮卑の拓跋氏が建てた国を、次の

①～④の中から1つ選びマークしなさい。 12

- ① 東晋 ② 北魏 ③ 北周 ④ 北斉

問4 文中の下線部(3)に関連して、西ゴート人が最終的に王国を建てた地域はどこ

か、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 13

- ① イベリア半島 ② 北アフリカ ③ パンノニア ④ 南イタリア

問5 文中の下線部(4)についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1

つ選びマークしなさい。 14

- ① 東ゴート王国では、アルビジョワ派キリスト教が信仰された。
② 東ゴート王国のレオン（レオ）3世は、聖像禁止令を發布した。
③ 東ゴート王国は、ノルマン人が建てた両シチリア王国と争った。
④ 東ゴート王国は、ビザンツ帝国のユスティニアヌス大帝によって滅ぼされた。

問6 文中の下線部(5)に関連して、前1世紀に『ガリア戦記』を著した人物を、次

の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 15

- ① カエサル ② タキトゥス ③ プルタルコス ④ リヴィウス

問7 文中の下線部(6)に関連して、アッパース朝によって圧迫されたウマイヤ朝の一族はイベリア半島にのがれて後ウマイヤ朝を建てたが、その首都はどこか。

次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 16

- ① グラナダ ② コルドバ ③ ダマスクス ④ トレド

問8 文中の下線部(7)に関連して、ローマ皇帝の事績についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 17

- ① ディオクレティアヌス帝は、プリンキパトゥスを創始した。
- ② コンスタンティヌス帝は、正統派キリスト教を国教とした。
- ③ ハドリアヌス帝は、帝国の全自由民にローマ市民権を与えた。
- ④ トラヤヌス帝は、帝国の最大領土を実現した。

問9 文中の下線部(8)に関連して、この二つの条約の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 18

- ① ヴェルダン条約とキャフタ条約 ② キャフタ条約とサラゴサ条約
- ③ ヴェルダン条約とメルセン条約 ④ メルセン条約とサラゴサ条約

問10 文中の下線部(9)に関連して、マジャール人が10世紀末にドナウ川中流地域に建てた国の名を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 19

- ① キエフ公国 ② ハンガリー王国
- ③ ノヴゴロド国 ④ ワラキア公国

問11 文中の下線部(10)についての説明として正しいものを，次の①～④の中から 1 つ選びマークしなさい。

20

- ① 皇帝のもとに諸侯が結集して国内の統一がすすみ，神聖ローマ帝国は巨大な国家へと変貌した。
- ② 教皇領を除くイタリア全土を支配することになり，皇帝の地位は万全なものとなった。
- ③ 皇帝がイタリア政策を熱心に進めたこともあって，国内の分権的傾向が強まった。
- ④ 皇帝はイタリア全土を支配したものの，国内では他の諸侯との権力争いに巻き込まれた。

Ⅱ 東西交易の歴史について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。
(30点)

ユーラシア大陸では、内陸アジア北部を東西に結ぶ草原の道⁽¹⁾、その南に広がる砂漠地帯のオアシス都市を結ぶオアシスの道、そして南方海上を船で結ぶ海の道が、古くから東西の交流に大きな役割を果たしてきた。

海の道では、1世紀ころから季節風（モンスーン）を利用した交易が盛んになり、系商人が活躍した。商人たちは、南インド、東南アジア⁽²⁾を貿易の中継地として中国と西方世界を結ぶ交易を行った。

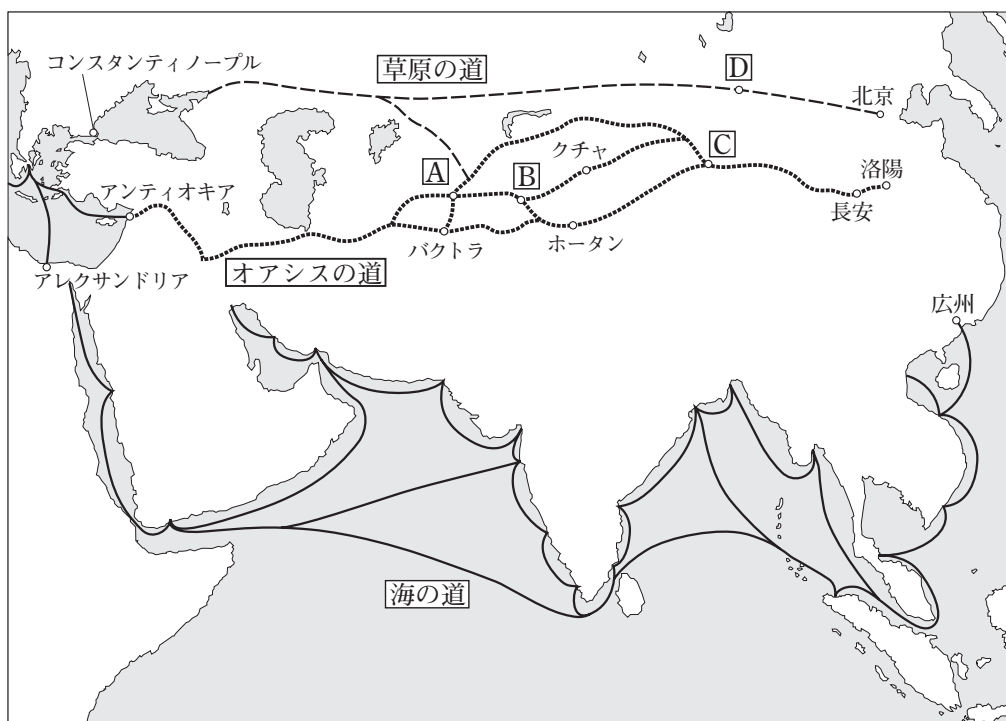
8世紀以降、ムスリム商人の進出により、海上交易はさらに盛んになった。彼らは広州などの中国沿岸の海港に入港し、居留地を形成して活発に交易を行った。10世紀になると中国人の海上進出も活発化し、東シナ海から南シナ海・インド洋にまで進出するようになり、陶磁器・絹・銅銭などをと呼ばれる外洋船によって各地に輸出した。これらの海上交易は宋代⁽³⁾から元代にかけて著しく発展し、などの港市が繁栄した。⁽⁴⁾

中国では、1368年に明朝が成立した。明は海禁政策⁽⁵⁾をとり、朝貢貿易を推進した。は、イスラーム教徒の宦官鄭和に命じて、艦隊をインド洋からアフリカ沿岸にまで遠征させ、諸国に明朝に対する朝貢を勧誘した。

明に対する朝貢貿易は広い範囲で活発に行われた。15世紀初めに統一を果たした琉球⁽⁶⁾は、朝貢貿易で得た物資を売買するなど、東シナ海と南シナ海を結ぶ立地を生かして、中国・日本・朝鮮・東南アジア諸国との中継貿易で繁栄をきわめた。また、14世紀末にマレー半島西南部に成立し、15世紀半ばにイスラーム王国となったは、鄭和の遠征をきっかけにして東南アジア最大の貿易拠点となった。

16世紀になると、大航海時代をむかえていた西ヨーロッパ諸国がこの交易に加わった。インド航路を開拓したポルトガルは、1510年にインド西岸の港市ゴアを占領し、スリランカやモルッカ諸島なども支配下においた。1557年には中国からの居住権を得て、ここを拠点として中国との貿易を行った。スペインはフェリペ2世の時代にフィリピンを征服すると、マニラを建設してアジア貿易の拠

点とした。オランダは1602年に東インド会社を設立してアジアに進出した。ジャワ島のバタヴィアを拠点に勢力を広げ、1623年の 27 事件を契機にイギリス勢力をモルッカ諸島から締め出し、オランダ領東インド支配の基礎をきづいた。



東西交流の三つの道

問1 文中の空欄 21 ～ 27 に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 21 ～ 27

21

- | | |
|---------|--------|
| ① アラム | ② イラン |
| ③ フェニキア | ④ ギリシア |

22

- | | |
|---------|--------|
| ① 亀甲船 | ② 三段櫓船 |
| ③ ジャンク船 | ④ ダウ船 |

23

- ① 開封 ② 泉州
③ 成都 ④ 重慶

24

- ① 永樂帝 ② 建文帝
③ 洪武帝 ④ 萬曆帝

25

- [illegible]

26

- ① アモイ ② ニンポー
③ ホンコン ④ マカオ

27

- ① ドレフュス ② アンボイナ
③ イリ ④ ブーランジェ

問2 文中の下線部(1)に関連して、草原の道で活躍した騎馬遊牧民についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

28

- ① スキタイは前漢の高祖を破った。
- ② 匈奴は冒頓単于の時代に最盛期をむかえた。
- ③ 突厥はキルギスの侵入をうけて滅亡した。
- ④ ウイグルは突厥と結んでエフタルを滅ぼした。

問3 文中の下線部②に関連して、7世紀に成立し、スマトラ島のパレンバンを中心に港市国家として栄えた国の名を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

29

- ① ピュー ② チャンパー
③ シュリーヴィジャヤ ④ 扶南

問4 文中の下線部(3)に関連して、陶磁器についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 30

- ① 唐の時代に赤絵と呼ばれる陶磁器が登場した。
- ② 唐の時代を代表する陶磁器は唐三彩である。
- ③ 明の時代になって、景德鎮で陶磁器が生産されるようになった。
- ④ 明の時代になると、青磁の技法が改善され白磁が登場した。

問5 文中の下線部(4)に関連して、宋代の社会経済についての説明として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 31

- ① 手工業者による同業組合である作が形成された。
- ② 長江下流域のデルタ地帯で水田開発が進んだ。
- ③ 海上貿易関係の事務を担当する官庁である公行が整備された。
- ④ 北宋時代には交子、南宋時代には会子が紙幣として発行された。

問6 文中の下線部(5)についての説明として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 32

- ① 大型船の多くは軍船とし、交易は許可を与えられた大型船に制限された。
- ② 外国船の往来を大幅に制限し、中国人による海上交易を推進した。
- ③ 海禁政策は、明朝が滅ぶまで緩和されることなく続けられた。
- ④ 民間の海上交易を許さず、政府の管理の下で貿易を維持・促進した。

問7 文中の下線部(6)に関連して、統一後の琉球王の呼称を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 33

- ① 中山王 ② 南山王 ③ 北山王 ④ 親魏倭王

問 8 地図中の[A]～[C]はオアシス都市であるが、その組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

34

- ① [A]－サマルカンド [B]－カシュガル（疏勒） [C]－敦煌
- ② [A]－サマルカンド [B]－敦煌 [C]－カシュガル（疏勒）
- ③ [A]－カシュガル（疏勒） [B]－サマルカンド [C]－敦煌
- ④ [A]－カシュガル（疏勒） [B]－敦煌 [C]－サマルカンド

問 9 地図中の[D]はモンゴル帝国の首都となった都市であるが、その都市名を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

35

- ① サライ
- ② カラコルム
- ③ タブリーズ
- ④ ラサ

Ⅲ 欧米列強のアジア進出とアジアにおける民族運動について述べた次の文章A・Bを読んで、以下の問いに答えなさい。(30点)

A インドでは、19世紀後半にインド人傭兵（シパーヒー）の大反乱がおこり、これを鎮圧したイギリスはインドの直接支配にのりだし、1877年にはイギリス女王 を皇帝とするインド帝国が成立した。1885年、イギリスは反英運動の緩和を目的としてインド国民会議を創設した。国民会議派は当初インド人エリート層からなる穏健派を主体としていたが、1905年にベンガル分割令が発表されると急進派が主導権をにぎり、1906年の大会では、英貨排斥・スワデーシ・スワラージ・民族教育の4綱領が決議された。これに対してイギリスは、親英的な全インド＝ムスリム連盟⁽¹⁾をムスリムに結成させた。一方で、ベンガル分割令⁽²⁾を撤回する懐柔策をとり、首府を に移し、運動の沈静化をはかった。

東南アジアにおいても植民地支配に対して抵抗運動が行われた。フィリピンでは、1880年代に入ると らが民族的啓蒙活動を開始し、1896年にはフィリピン革命がおこった。1899年にアギナルドがフィリピン共和国の独立を宣言したが、アメリカは独立を認めず、フィリピン＝アメリカ戦争で共和国軍を破り、フィリピンを統治下においた。ベトナムでは、1904年に独立回復と立憲君主制の樹立を目指す が結成され、日本への留学を進めるドンズー（東遊）運動が展開されたが弾圧された。

西アジアでは、徹底した反帝国主義の立場に立ち、民族主義とパン＝イスラーム主義を説いた の思想が各地の民族運動に影響を与え、カージャー朝治下のイランでは、1890年に 人にタバコの生産・販売などの独占的利権が与えられると、ウラマーや商人層を中心にタバコ＝ボイコット運動が展開された。オスマン帝国では、1908年にスルタンの専制に不満を持つ「青年トルコ」が蜂起し、政権をにぎった。

問1 文中の空欄 36 ～ 41 に入る語句として適当なものを，次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 36 ～ 41

36

- | | |
|-----------|----------|
| ① アン | ② ヴィクトリア |
| ③ エリザベス1世 | ④ メアリ2世 |

37

- | | |
|-------|---------|
| ① アグラ | ② カルカット |
| ③ デリー | ④ ボンベイ |

38

- | | |
|---------------|-------------|
| ① チュラロンコン | ② ファン＝デン＝ボス |
| ③ ファン＝ボーイ＝チャウ | ④ ホセ＝リサール |

39

- | | |
|-------|-------|
| ① 維新会 | ② 興中会 |
| ③ 光復会 | ④ 華興会 |

40

- | | |
|----------|---------|
| ① アフガーニー | ② ウラービー |
| ③ ホメイニ | ④ モサデグ |

41

- | | |
|--------|--------|
| ① オランダ | ② フランス |
| ③ イギリス | ④ ロシア |

問2 文中の下線部(1)についての説明として誤っているものを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 42

- ① この法令はヒンドゥー教徒とムスリムの宗教対立をあおることを目的としていた。
- ② 反英抵抗運動の分断をねらった典型的な分割統治策であった。
- ③ ベンガル州を東西に分割する法令であった。
- ④ インド人に対して令状なしの逮捕を認めた法令であった。

問3 文中の下線部(2)に関連して、全インド = ムスリム連盟の指導者となり、パキスタンの初代総督となった人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

43

- ① アンベードカル ② ティラク ③ ジンナー ④ ネルー

B 中国では、アヘン戦争、アロー戦争に清朝が惨敗したことから、欧米列強による進出にさらされるようになった。国内でも、洪秀全が1851年から太平天国の乱をおこしたが、これに対して、漢人官僚が組織した郷勇やウォードやゴードンの率いる常勝軍が乱を鎮圧した。⁽³⁾この乱の後、清朝では漢人官僚が中心となって、富国強兵を目指し、西洋の学問や技術の導入をはかる 44 が進められた。

しかし、日清戦争で清が敗北すると、欧米列強は清朝への干渉を深め、中国は半植民地化していった。⁽⁴⁾このような列強の強引な進出に対して排外運動が激化し、山東省では義和団事件がおきた。日本を含む列強8カ国は連合軍を組織して北京を占領し、義和団を鎮圧した。⁽⁵⁾この事件以降、清朝は近代国家建設のため諸改革を進めた。

一方、知識人・華僑・留学生らを中心として清朝打倒を目指す革命運動が盛んになった。45 は1905年に日本の東京で中国同盟会を組織し、「民族・民権・民生」の三民主義を掲げた。1911年、幹線鉄道の国有化に反対して四川で暴動がおきると、革命派が蜂起し、46 がはじまった。この動きは全国に波及し、1912年1月には南京で 45 を臨時大總統とした中華民国の建国が宣言された。革命派との交渉のため清朝政府に起用された袁世凱は、清朝皇帝の退位を条件に 45 から臨時大總統の地位を譲り受け、清朝はここに滅亡した。

袁世凱の死後、列強の援助をうけた軍閥が各地に割拠することになった。また、清朝の支配下にあった周辺部の諸民族の中では独立にむかう動きがおこった。⁽⁶⁾

問4 文中の空欄 44 ～ 46 に入る語句として適当なものを，次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 44 ～ 46

44

- ① 光緒新政
③ 白話運動

- ② 戊戌の変法
④ 洋務運動

45

- ① 康有為
③ 陳独秀

- ② 蔣介石
④ 孫文

46

- ① 易姓革命
③ 第三革命

- ② 辛亥革命
④ 十月革命

問5 文中の下線部(3)に関連して，湘軍を組織した漢人官僚を，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 47

- ① 左宗棠 ② 曾国藩 ③ 李鴻章 ④ 梁啓超

問6 文中の下線部(4)に関連して，日清戦争以降の中国をめぐる列強の動きについての説明として正しいものを，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

48

- ① 日本は，三国干渉をうけて遼東半島を清に返還した。
② イギリスは，長江流域と福建省を勢力下においた。
③ フランスは，威海衛と九竜半島を租借した。
④ アメリカは，モンロー教書を発して中国市場への割り込みをはかった。

問7 文中の下線部(5)に関連して，日本を含む列強8カ国に含まれる国を，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

49

- ① スペイン ② ポルトガル ③ オランダ ④ イタリア

問8 文中の下線部(6)に関連して，1911年に独立を宣言した地域を，次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

50

- ① ウイグル ② 外モンゴル ③ チベット ④ 満州